

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
水産	課題研究	海洋科学科	1	1	なし	危険物取扱者 丙種

<b>学習の到達目標</b>	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
ワークシートや観察・実験 小テスト など	論述・レポート 発表・グループ討議 など	行動観察・自己評価・相互評価 ノート・レポート など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4   7	第1編 燃焼および消火に関する基礎知識 第1章 燃焼の基礎知識  第2章 消火の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼の基礎知識について基礎的な内容を理解している。</li> <li>燃焼の基礎知識における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>燃焼の基礎知識について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>消火の基礎知識について基礎的な内容を理解している。</li> <li>消火の基礎知識における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>消火の基礎知識について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○  ○	○  ○	○  ○
9   12	第2編 危険物の性質、並びにその火災予防および消火の方法 第1章 丙種危険物取扱者の取扱うことのできる危険物に共通する性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>丙種危険物取扱者の取扱うことのできる危険物に共通する性質について基礎的な内容を理解している。</li> <li>丙種危険物取扱者の取扱うことのできる危険物に共通する性質に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>丙種危険物取扱者の取扱うことのできる危険物に共通する性質について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
	第2章 主な危険物の性質と危険性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な危険物の性質と危険性について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・主な危険物の性質と危険性に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・主な危険物の性質と危険性について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
1   3	第3編 危険物に関する法令 第1章 消防法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防法について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・消防法に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・消防法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2章 危険物の規制に関する政令	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物の規制に関する政令・規制について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・危険物の規制に関する政令・規制に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	
	第3章 危険物の規制に関する規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物の規制に関する政令・規制について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>			○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
水産	水産海洋基礎	海洋科学科	1	4	水産海洋基礎	なし

<b>学習の到達目標</b>	<p>水産や海洋に関する基礎的な知識と技術を習得させるとともに、水産業や海洋関連産業が国民生活に果たしている役割を理解する。</p> <p>水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、水産業や海洋関連産業において必要となる基礎的な資質・能力を身に付ける。</p>
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水産業や海洋関連産業の国民生活における社会的意義や役割などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	水産業や海洋関連産業全体を広い視野で捉え課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	持続可能な水産業や海洋関連産業の構築を目指して自ら学び、地域の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
ワークシートや観察・実験 定期テストや小テスト など	論述・レポート 発表・グループ討議 など	行動観察・自己評価・相互評価 ノート・レポート など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4   7	第1章 海のあらし 第1節 日本の海、世界の海 第2節 海と食生活・文化・社会 第3節 海と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>海と人間生活の関わりについて基礎的な内容を理解している。</li> <li>海と人間生活における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>海と人間生活の関わりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>海洋環境の概要や役割及び保全と管理について基礎的な内容を理解している。</li> <li>海洋環境の概要や役割及び保全と管理における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>海洋環境の概要や役割及び保全と管理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第4節 海と生物	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系や生息環境など海や陸水の生物の特性について基礎的な内容を理解している。</li> <li>生態系や生息環境など海や陸水の生物の特性についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>生態系や生息環境など海や陸水の生物の特性について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2章 水産業と海洋関連産業のあらし 第1節 船と暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>船の種類と役割、構造、機関、通信及び操船について必要な知識や技術と関連付けて理解している。</li> <li>船の種類と役割、構造、機関、通信及び操船についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>船の種類と役割、構造、機関、通信及び操船について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2節 とる漁業・つくり育てる漁業と資源管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業の沿革と現状、漁業生産の動向と国際的な資源管理体制について必要な知識や技術と関連付けて理解している。</li> <li>漁業の沿革と現状、漁業生産の動向と国際的な資源管理体制についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>漁業の沿革と現状、漁業生産の動向と国際的な資源管理体制について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12					

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
	第3節 水産物の流通と加工現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産物の習性と漁具・漁法及び漁業関連機器、増養殖について必要な知識や技術と関連付けて理解している。</li> <li>・水産物の習性と漁具・漁法及び漁業関連機器、増養殖についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・水産物の習性と漁具・漁法及び漁業関連機器、増養殖について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第4節 我が国の水産業と海洋関連産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋性レクリエーション、沿岸域の整備・開発・調査、海洋エネルギーなどの資源開発及び海洋関連産業の現状について必要な知識や技術と関連付けて理解している。</li> <li>・海洋性レクリエーション、沿岸域の整備・開発・調査、海洋エネルギーなどの資源開発及び海洋関連産業の現状についての課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・海洋性レクリエーション、沿岸域の整備・開発・調査、海洋エネルギーなどの資源開発及び海洋関連産業の現状について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
1   3	第3章 基礎実習 第1節 水産・海洋生物の採集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産業や海洋関連産業に必要な基礎的な技術を理解している。</li> <li>・海上での安全確保のための課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・海上を中心とする集団行動を通して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2節 水産・海洋生物の飼育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産・海洋生物の飼料や餌料、飼育管理に関する基礎的な内容を理解している。</li> <li>・水産・海洋生物の飼料や餌料、飼育管理における課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・水産・海洋生物の飼料や餌料、飼育管理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第3節 水産物の加工 第4節 海洋実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や時期に応じた水産物の調理・加工について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・地域や時期に応じた水産物の調理・加工における課題を発見するとともに、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・地域や時期に応じた水産物の調理・加工について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
水産	海洋情報技術	海洋科学科	1	2	海洋情報技術	なし

学習の到達目標	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、水産業や海洋関連産業において情報技術を活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。
---------	--

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水産や海洋における情報技術について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	水産や海洋における情報技術に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	水産や海洋における情報技術の主体的な活用を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
ワークシートや観察・実験 定期テストや小テスト など	論述・レポート 発表・グループ討議 など	行動観察・自己評価・相互評価 ノート・レポート など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4   7	第1章 水産や海洋における情報技術 第1節 様々な情報技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産や海洋における情報技術の役割や情報化の進展に伴う諸問題を理解している。</li> <li>情報社会における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>情報社会について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2節 情報セキュリティと情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>ID やパスワード、外部侵入防止対策及び防災対策について理解している。</li> <li>ID やパスワード、外部侵入防止対策及び防災対策における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>ID やパスワード、外部侵入防止対策及び防災対策について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2章 水産や海洋における情報コミュニケーションと情報デザイン 第1節 情報メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会における多様なコミュニケーションを実現するための情報メディアの特性を理解している。</li> <li>情報のデジタル化と情報処理の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>情報コミュニケーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>情報社会における情報メディアの特性について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2節 情報のデジタル化と情報処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報のデジタル化と情報処理について、情報の統合など情報デザインと関連して理解している。</li> </ul>	○		
9   12	第3章 コンピュータとプログラミング 第1節 情報の表現方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータで情報が処理される仕組みを理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</li> <li>問題を発見・解決するために必要なモデル化とシミュレーションの方法について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>コンピュータで情報が処理される仕組みをモデル化してシミュレーションやプログラムの活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2節 アプリケーションソフトウェアの使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書作成、表計算、データベースの作成、画像処理及びアプリケーションソフトウェアの使用法などの基礎的な内容を理解している。</li> </ul>	○		

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
	第3節 オペレーティングシステム	・システムの構成、データ処理方式、オペレーティングシステムを使用するファイル管理における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。		○	
	第4節 プログラミング	・プログラミング言語の基礎的な内容を理解している。	○		
	第4章 情報通信ネットワークとデータの利用	・情報通信ネットワークを理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	○	○	
	第1節 情報通信ネットワークの概要	・問題を発見・解決するために必要な情報通信ネットワークの活用方法についての課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ・情報通信ネットワークにおけるデータの情報検索や情報共有と問題解決について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○
	第2節 情報通信ネットワークの活用	・情報検索や情報共有と問題解決、データの収集、整理、分析及び結果の表現方法について理解している。 ・目的や状況に応じた構成要素とプロトコルを選択し、情報通信ネットワークの活用について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○		○
1   3	第6章 水産や海洋における情報技術の応用	・水産や海洋の各分野における情報技術の応用を理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	○		
	第1節 海洋の情報システム	・水産や海洋の各分野の情報技術の活用方法について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。 ・水産や海洋の各分野の情報技術の問題解決について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。		○	○
	第2節 船舶運航の情報システム	・船舶自動識別装置 (AIS)、電子制御の船舶運航システムやネットワーク化、沿岸や海中における安全救助、防災システムについて基礎的な内容を理解している。	○		
	第3節 水産の情報システム	・漁業情報システム、水産物の電子商取引、水産資源管理、電子タグや二次元コードなどを利用した食品トレーサビリティシステム、飼育履歴の情報管理などについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
水産	課題研究	海洋科学科	2	1	なし	危険物取扱者 乙種第4類

<b>学習の到達目標</b>	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
ワークシートや観察・実験 小テスト など	論述・レポート 発表・グループ討議 など	行動観察・自己評価・相互評価 ノート・レポート など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4   7	第1編 物理学と化学の基礎知識 第1章 基礎的物理学及び基礎的化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>物理学と化学の知識について基礎的な内容を理解している。</li> <li>物理学と化学の基礎における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>物理学と化学の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2章 燃焼の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃焼の基礎について基礎的な内容を理解している。</li> <li>燃焼の基礎における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>燃焼の基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第3章 消火に関する基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火に関する知識について基礎的な内容を理解している。</li> <li>消火に関する基礎における課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>消火に関する基礎について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12	第2編 危険物の性質並びにその火災予防および消火の方法 第1章 第四類危険物以外の危険物の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>第四類危険物以外の危険物の概要について基礎的な内容を理解している。</li> <li>第四類危険物以外の危険物の概要に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>第四類危険物以外の危険物の概要について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	☆産業現場等における実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の沿岸漁業、水産に関する公的研究機関、養殖場、魚市場、漁業協同組合、水産加工場、水産物流通や販売、海運関係機関、その他先端技術の関連機関や産業現場の仕事について基礎的な内容を理解している。</li> <li>地域の沿岸漁業、水産に関する公的研究機関、養殖場、魚市場、漁業協同組合、水産加工場、水産物流通や販売、海運関係機関、その他先端技術の関連機関や産業現場の仕事内容に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> </ul>	○	○	

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
	第2章 第四類危険物の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の沿岸漁業, 水産に関する公的研究機関, 養殖場, 魚市場, 漁業協同組合, 水産加工場, 水産物流通や販売, 海運関係機関, その他先端技術の関連機関や産業現場の仕事内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>第四類危険物の概要について基礎的な内容を理解している。</li> <li>第四類危険物の概要に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>第四類危険物の概要について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
1   3	第3編 危険物に関する法令 第1章 消防法  第2章 危険物の規制に関する政令 第3章 危険物の規制に関する規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防法について基礎的な内容を理解している。</li> <li>消防法に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>消防法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> <li>危険物の規制に関する政令・規制について基礎的な内容を理解している。</li> <li>危険物の規制に関する政令・規制に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>危険物の規制に関する政令・規制について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

教科	科目	学科	学年	単位数	使用教科書	使用副教材
水産	課題研究	海洋科学科	3	3	なし	なし

<b>学習の到達目標</b>	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
----------------	---

評価の観点と評価方法		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
ワークシートや観察・実験 小テスト など	論述・レポート 発表・グループ討議 など	行動観察・自己評価・相互評価 ノート・レポート など

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
4   7	第1. 漂着物及びマイクロプラスチックの調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。</li> <li>水産や海洋に関する課題を発見し、水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</li> <li>課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第2. 未利用資源の加工及び氷見産魚のブランド化への活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>未利用資源や残滓などの活用法について基礎的な内容を理解している。</li> <li>未利用資源や残滓などの活用法に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>未利用資源や残滓などの活用法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
9   12	第3. 魚食性魚類のマイクロプラスチック含有率の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>海水や陸水における環境調査について基礎的な内容を理解している。</li> <li>海水や陸水における環境調査に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>海水や陸水における環境調査について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○

月	学習項目	学習内容および評価規準	知	思	主
	第4. クルマエビの陸上養殖の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルマエビの増養殖技術について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・クルマエビの増養殖技術に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・クルマエビの増養殖技術について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
	第5. ムラサキウニ肥育に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山湾の磯焼けの原因とムラサキウニの関係について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・富山湾の磯焼けの原因とムラサキウニの関係に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・富山湾の磯焼けの原因とムラサキウニの関係について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○
1   3	第6. 水槽浄化処理能力に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・濾過効率とバクテリアの繁殖、水槽内環境の保全の関係について基礎的な内容を理解している。</li> <li>・濾過効率とバクテリアの繁殖、水槽内環境の保全に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決しようとしている。</li> <li>・濾過効率とバクテリアの繁殖、水槽内環境の保全の関係について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>	○	○	○